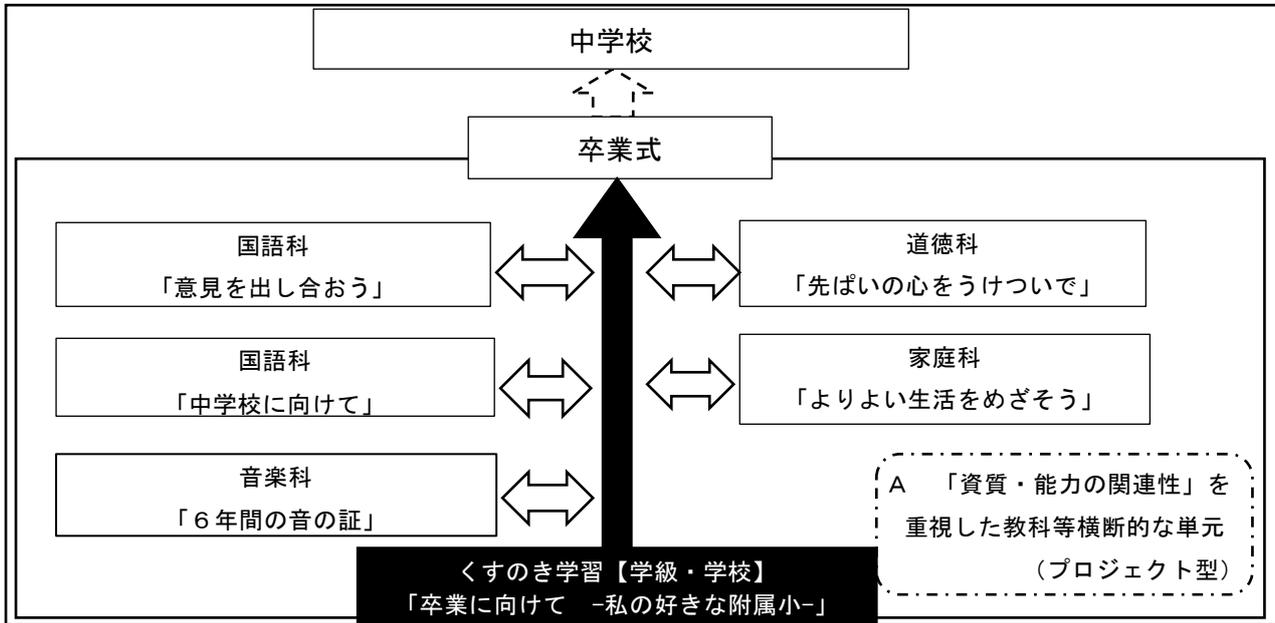


第6学年 くすのき学習【学級・学校】（＋国語科・道徳科・家庭科・音楽科）
「卒業に向けて ー私の好きな附属小ー」

指導者 玉井 淳博 河口 麻衣子 岡田 海斗

1 単元全体構想図



2 単元構想について

6年生の子どもにとって3学期は、今までの学校生活を振り返り、自分や学級・学年集団としての軌跡を見詰めながら卒業までの一日一日をどう過ごしていくのか考え、行動する時期である。この時期に抱く周囲への感謝の思いを表現することで、中学校という新たなステージへ希望と自信を持って踏み出そうとする気持ちが高まると考える。本単元の卒業プロジェクトに参画し、学校のために行動することで、一人一人が自分なりの思いを持って卒業式に臨んでもらいたいと願い、単元を構想した。本単元の中心である、くすのき学習は各教科等の学びを生かし、発揮する場として有効な学習である。国語科や道徳科、図画工作科、家庭科との資質・能力の関連を図り、各教科等の学びを生かしながら一つ一つの課題を克服し、培った力を生かし、発揮することで「深い学び」の実現を図っていききたい。

国語科では、これまでに、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合う学習をしてきた。「お互いの考えや意見を関連付けて話し合い、結論を出す」ことや「意見の違いを大事にしながらか話し合い、考えを深める」ことなどの国語科での学びを、くすのき学習の話し合い活動において生かし、発揮できるようにする。また、道徳科では学校の伝統が一人一人の卒業生によって創られてきたことを考え、その伝統を大切にしていこうとする態度を養う。これまでも、よりよい学校を築いていこうという気持ちを抱き、活動してきた自分の姿を振り返り、一つ一つの頑張りが学校を支えている大切な活動であったことを再認識できるようにする。また、一人一人の自覚の高まりが集団の力となり、学校全体を支えようとする力へと発展していくことにも気付かせ、残り少ない小学校生活を充実させていこうとする意欲を高めていききたい。家庭科では、身近な環境や人々とのかかわりを見詰め直し、快適に生活するための方法について考えることを通して、よりよく生きようとする態度を育成する。そのために、既習内容を振り返り、お世話になった人々への感謝の気持ちを表す方法を考え、実行し生活に生かすことができるようにする。また、音楽科では「成長」をテーマに、自分自身の気持ちや目指す姿、自分を取り巻く環境などを自由にイメージし、自分らしく表現する。今の自分を見詰め、未来に思いを巡らせることで、小学校卒業に向けた思いを高めていききたいと考える。

3 単元のねらい

- 自分や友達の成長を見詰め、卒業までに学校や自分を支えてくれた人に対して、自分たちができることをしようとする意欲を持つ。
- 自分や友達の意見を大切にして話し合い、集団としての思いを高めながら「卒業プロジェクト」を企画し、実行する。

4 単元の展開（全16時間）

| 場面 | 子どもの課題意識と主な学習活動 | 評価の規準 | 時間 |
|------|--|---|----------------|
| 出合い | <p>附属小にはどんな素敵な光景があるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 附属小の好きな光景を個人で写真撮影する。 ○ 「私の好きな附属小写真展」を開き、思いを共有する。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 学校に対して愛着を持ち、自分なりの写真で他者に伝えようとしている。 ● これからの学習に課題意識や目的意識を持っている。 | 4 本時 その4 |
| | <p>卒業に向けて自分たちができる「卒業プロジェクト」を考え、実行しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学級や学年で「卒業までに全校のために取り組みたいこと」を話し合う。 ○ 個人が今後頑張ることや、学級・学年として取り組むことを計画、実行する。 | | |
| 振り返り | <p>「卒業プロジェクト」を振り返ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 卒業プロジェクトの成果と課題について、学級・学年で振り返る。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 卒業プロジェクトを実行した充実感を持ち、卒業式に向けて自分なりの思いを持っている。 | 2 |

5 単元における指導の工夫

| 場面 | 三つの場面ごとの子どもと「つなぐ」指導の工夫（学習材・他者・自分自身） |
|------|---|
| 出合い | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「私の好きな附属小写真展」で、一人一人の学校に対する思いを表現させることで、今後のプロジェクトにおける課題意識や目的意識を持たせる。（学・自） |
| 追究 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級での話し合いの時間を十分に確保することで、学級内での共通理解を図るとともに、具体的に学年全体に提案することができるようにする。（他） ・ プロジェクトチームを結成し、よりよい学校の実現のために主体的・対話的に企画や運営を行うことができるようにする。（学・他） ・ 活動の中で適宜相互評価を取り入れることで、友達のよさに気付くことができるようにする。（他・自） |
| 振り返り | <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの卒業プロジェクトが、自分や友達の成長、そしてよりよい学校の実現につながったかどうか文章で自己評価させる。（自） ・ 下級生や教員からの評価をもらうことで、学びの充実感や達成感を味わうことができるようにする。（自） |

6 評価の具体的な方法

本単元を通して「深い学び」を実現したとき、次のような姿が表れると考える。

- 学校に対する感謝の思いや愛着を持ち、学校のためにどのようなことをしたいか、課題意識や目的意識を持っている。(学・自)
- 小集団や全体での話し合いを通して、多様な考えに触れ、集団のために自分ができることや役割を意識して意思決定し、進んで実践している。(他)
- 実践課題を意思決定し、よりよい学校にするために実践した経験をこれからの生活にも生かそうとしている。(自)

(1) 空間軸から見た手立て

ア 指導者評価

| 視点 | 方法 |
|-----------------------------|-----------|
| ○ 自分のこととして考えることができているか。 | ワークシート、様態 |
| ○ 自分が意思決定したことを実践しようとしているか。 | ワークシート、様態 |
| ○ 自己評価や他者評価を今後にも生かそうとしているか。 | ワークシート、様態 |

イ 子どもによる自己評価

授業の終末に、自分の学び方についてワークシートを用いて振り返る時間を設ける。

| 主な視点(例) |
|---|
| ○ 話し合いに進んで参加し、自分の思いや考えを伝えることができましたか。 |
| ○ よりよい学校を目指して、目標や活動内容を具体的に考えることができましたか。 |
| ○ 進んで活動し、よりよい学校にするために貢献することができましたか。 |
| ○ (卒業プロジェクトを終え) 卒業式に向けてどのような思いを持っていますか。 |

(2) 時間軸から見た手立て

これまでに実践してきたよりよい学校を目指した取組を振り返ったり、感想文等を読み返したりして、自分や他者の思いや考えを振り返る機会を設ける。当時と今の自分や学校を比較し、変容があったかやこれから何をしていくのかを考えさせることで主体的に行動する態度を育てていく。

7 本時の授業（4／16）

- (1) 日時 令和2年2月1日（土）10:20～11:05
- (2) 場所 実習講義室
- (3) ねらい 自分の思いを表現したり友達の作品を鑑賞したりすることで、附属小への思いを共有し、これからの学習への意欲や見通しを持つことができる。
- (4) 準備物 子どもが撮影した写真、ワークシート、タブレットPC
- (5) 展開

| 学習活動 | 予想される子どもの意識の流れ | 指導（○）と評価（●） |
|--------------------|---|--|
| 1 写真を鑑賞する。 | <p>みんなは附属小のどんな光景が好きなのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達とたくさん遊んだ運動場の風景が好きなんだね。 ・音楽室でみんなが歌っている光景もいいね。 ・本好きのあの子らしい写真だね。 ・この写真にはどんな意味があるのか聞いてみたいな。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真を鑑賞し、一人一人の思いを共有できるようにする。 ○ 後日保護者が鑑賞する機会を設定し、家族からも感想をもらえるようにする。 |
| 2 写真展について話し合う。 | <p>みんなの写真について聞いてみたいな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして国語の授業風景の写真にしたの？ ・掃除の時間の写真を撮影したのはなぜ？ ・みんないろいろな思いが附属小にあるんだね。 ・友達や下級生と一緒に活動している写真が多いみたいだね。 ・附属小での生活も残り少なくなってきたな。 <p>附属小は私たちにとってどんな場所なのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年間でたくさんの思い出ができたな。 ・友達がいたから楽しい学校生活が送れたよ。 ・下級生と一緒に協力できる場所だな。 ・自分らしく過ごせる場所だったな。 ・お世話になった附属小のために何かできないかな。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真展について友達に聞いてみたいことや感想等を交流することで、自分なりの言葉で附属小への思いを表現させる。 ○ 話題になっている写真を投影し、全体で共有できるようにする。 ○ 写真の感想から学校への思いやこれからの活動につなげられるように話し合いをコーディネートする。 |
| 3 これからの活動について話し合う。 | <p>附属小に感謝の気持ちを伝えるためにどんなことができるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年全体で、学校や下級生のためになることをしたいな。 ・自分たちが頑張っている姿をもっと下級生に見せたいな。 ・学級でも何かプロジェクトを決めて附属小のために実行したいな。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 個での考えの形成から話し合い活動につなげていく。 ○ 小集団での話し合いも適宜取り入れ、全員が参加できるようにする。 ● 自分なりの思いを表現し、これからの活動に意欲や見通しを持っているか。 |
| 4 本時を振り返る。 | <p>具体的な実践方法を考えて実行しよう。</p> | <p>[様態・ワークシート]</p> |